

## 第 35 回バイオマスタウン構想の公表

### 【新規公表：4 構想の概要】

#### 佐賀県佐賀市（さがし）

佐賀市に広く分布する家畜排せつ物や下水汚泥などを堆肥や肥料化するとともに、メタン発酵や下水汚泥から発生するガスを熱や電気に変換し、施設内でエネルギー利用する。また、廃食用油をBDF化、建設廃材や林地残材をチップ、ペレット化して輸送用燃料やボイラー燃料として利用するなど、市民及び企業、行政等が、効率的かつ一体的なバイオマス利活用施設整備等を促進し、循環型社会の形成を図る。

#### 佐賀県唐津市（からつし）

水産加工団地で発生する加工残さの飼料化や燃料化に取り組み、下水汚泥やし尿・浄化槽汚泥、家畜排せつ物からメタン発酵によるエネルギー回収を検討する。また、廃食用油の燃料化に取り組み、生ごみの有効活用や森林資源活用事業の構築を進め、産業の活性化と循環型社会の形成を図る。

#### 熊本県山鹿市（やまがし）

各種バイオマスの利活用を、農林業などの地域産業の活性化とともに一体的に取り組んでいくことを施策の基本方針とする。また、メタン発酵技術や好気性発酵技術を用いた変換処理によって、生ごみや食品残さ、家畜排せつ物等の廃棄物系バイオマスの肥料化を推進するなど、地域住民との協働による地域の特性を生かした環境づくりと持続可能な資源循環型社会の構築を目指す。

#### 鹿児島県屋久島町（やくしまちょう）

世界自然遺産への登録に象徴される豊かな自然環境の中で、「共生と循環」の基本理念のもと、森林資源のペレットやチップ化による熱利用、農畜産資源及び生活ごみの堆肥化利用、焼酎かすをメタン発酵することによるガス化利用などを行うことで、地域の中でバイオマスを総合的・有機的に循環させる。このことにより、地球環境保全や地域経済の活性化に貢献し、持続可能な循環型社会の形成を目指す。